

大会報告書

「2019青少年のための科学の祭典滋賀大会」報告書

■開催日時

彦根会場:

2019年10月12日(土)10:00~16:00 暴風警報により中止

10月13日(日)10:00~16:00 開催

大津会場:

2019年10月27日(日)11:00~16:00 開催

■会場

彦根会場:

滋賀県立大学 交流センター 彦根市八坂町2500

大津会場:

びわ湖大津館 大津市柳が先5番35号

■主催

青少年のための科学の祭典滋賀大会実行委員会

公益財団法人日本科学技術振興財団

日本物理教育学会近畿支部

公益財団法人深尾理工教育振興財団

■後援 文部科学省 滋賀県 彦根市教育委員会 大津市教育委員会 滋賀県立大学 滋賀大学
滋賀県教育委員会 彦根市教育研究会中学校理科部会 彦根市教育研究会小学校理科部会
全国科学館連携協議会 全国科学博物館協議会 日本物理教育学会
(一社)日本生物教育学会 日本地学教育学会 日本基礎化学教育学会
(一社)日本科学教育学会 (一社)日本理科教育学会 (一社)日本地質学会
(一社)日本生物物理学会 一般社団法人日本物理学会 (公社)応用物理学会
公益社団法人日本化学会 (一社)日本機械学会 (公社)日本アイソトープ協会
(公社)日本理科教育振興協会 (一財)日本私学教育研究所
(公社)日本植物学会 公益社団法人日本動物学会 (公社)日本天文学会
(公社)日本工学会 (一社)電気学会 日本エネルギー環境教育学会
滋賀県高等学校校長会 滋賀県中学校校長会 滋賀県小学校校長会
滋賀県高等学校理科教育研究会 滋賀県中学校教育研究会理科部会
滋賀県小学校教育研究会理科部会 滋賀県科学教育振興委員会
BBCびわ湖放送 NHK 日本電気硝子株式会社

■協賛 アニテック 啓林館 (株)スペース工房

■来場者数

彦根会場:

10月 13日 1,420人(一般来場者1,200人, 出展者等220人)

大津会場:

10月 27日 1,000人(一般来場者750人, 出展者等250人)

■出展数 79出展(彦根会場50種類, 大津会場29種類)

■出展タイトル一覧

彦根会場（荒天中止になったものも含む）

- 1 シャボン玉を作ろう
- 2 サメとカメとペンギンと生物ロボット大集合
- 3 お米がこんなにふくらみます。ポン菓子機！
- 4 天体望遠鏡で昼間の星を見よう
- 5 電波望遠鏡のしくみ
- 6 光・電気の速度は測れるか
- 7 ダイヤモンドダスト実験と雪結晶の紋切り遊び
- 8 プラネタリウム
- 9 「ビ箱(びはこ)博物館」滋賀の大地を体験しよう
- 10 コイルを巻いて電池1本で青色LEDを光らせよう
(ジュールシーフ回路の工作)
- 11 光る星座カード
- 12 ペットボトルロケットを飛ばそう！
- 13 スライムをつくろう！
- 14 倒れゆくレンガドミノは、なんで？なんで？と議論を
おこす
- 15 水辺の生き物展示
- 16 紙おむつのヒミツ
- 17 薬草を探してみよう
- 18 種の不思議 ～タネコプターを作ろう～
- 19 白黒なのに色が見える～補色錯視体験～
- 20 ミラクルフルーツでミラクル体験！
- 21 ようこそ楽しい化学とものづくりの世界へ～虹メガ
ネで光の不思議を感じてみよう～
- 22 ようこそ楽しい化学とものづくりの世界へ～人工
いくらと化学分科会のとりくみ紹介～
- 23 ようこそ楽しい化学とものづくりの世界へ～台所
でできる簡単化学実験
- 24 ミニたぬきの絵付け体験
- 25 バルーンスライムを作ろう！
- 26 プンブンごまを作ろう！
- 27 レジンで小物を作ろう！
- 28 バイオームクエスト～県立大学出張版～
- 29 身の回りの放射線を測ってみよう
- 30 サイエントゥイッチと面白おもちゃサイエンスショー
- 31 ロウソクで動くポンポン船を作ろう
- 32 電子顕微鏡を触ってみよう！！
- 33 光のアートを楽しもう☆
- 34 音となかよくなろう♪
- 35 図形を楽しもう！
- 36 算数マジック
- 37 浮かぶボールのおもしろ実験と道具作り！
- 38 micro:bit を体験しよう！
- 39 スピンを体感しよう
- 40 極低温の世界を体験しよう
- 41 ふしぎ！車輪が回れば自分も回る！？
- 42 天気が分かる魔法の紙を作ろう
- 43 スポーツや姿勢についての疑問、科学の目で見て
みよう
- 44 カラフルカップをつくろう
- 45 CD 盤でベンハムの独楽を作ろう
- 46 逆立ちするコマを作ってみよう！
- 47 シュワシュワ爆弾を作ろう！
- 48 360度カメラとあそぼう！
- 49 光と色のフシギ
- 50 ミニお米作り

大津会場

- 1 ミラクルフルーツでミラクル体験！
- 2 カラフルカップをつくろう
- 3 ニッケルメッキでアクセサリを作ろう
- 4 サイエントゥイッチと面白おもちゃサイエンスショー
- 5 ようこそ楽しい化学とものづくりの世界へ～虹メガネ
で光の不思議を感じてみよう～
- 6 種のふしぎ～タネコプターを作ろう～
- 7 白黒なのに色が見える～補色錯視体験～
- 8 ヨシを使ってパンパイプ(笛)を作ろう
- 9 ヨシやカラーストローを使って立体アートを作ろう
- 10 色々なモノの温度をカメラで見よう
- 11 薬草を探してみよう
- 12 逆立ちするコマを作ってみよう！
- 13 micro:bit を体験しよう！
- 14 極低温の世界を体験しよう
- 15 つなぎ目のない鎖を作ろう
- 16 ようこそ楽しい化学とものづくりの世界へ～紫外線
硬化樹脂で化学の魅力を体験しよう～
- 17 スーパーボールを作ろう！
- 18 ビーズで作ろう！逆さごま
- 19 ストローハーモニカ
- 20 ロウソクで動くポンポン船を作ろう
- 21 バスボムをつくろう！
- 22 図形を楽しもう！
- 23 算数マジック！
- 24 光のアートを楽しもう☆
- 25 音となかよくなろう♪
- 26 偏光板でステンドグラスを作ってみよう！
- 27 CD 盤でベンハムの独楽を作ろう！
- 28 シュワシュワ爆弾を作ろう！
- 29 1分後に整列する振り子？！～ペンデュラムウェー
ブ～

- 製作物
 - ・実験解説集 :A4版／表紙4色・中1色／54ページ数／製作部数:1700冊
 - ・チラシ(彦根用) :A4版／表紙4色, 裏1色／製作部数:37500枚
 - ・チラシ(大津用) :A4版／表紙4色, 裏1色／製作部数:25000枚

■広報活動

- ・チラシは、郵送で小学校を中心に配布した。近隣の市や町の小学校には児童全員分を配布し、先生を通じて児童一人一人に渡してもらった。また、ポスターを作成し、近隣の中学校に配った。
- ・その他:事務局の持つホームページ <http://chem.edu.shiga-u.ac.jp/festival>

■実施内容

今年で21回目の大会となった。彦根会場では滋賀県立大学から強い協力を得て、また大津会場では大津市教育委員会から会場費減免措置を得ることができた。

彦根会場は12日(土)、13日(日)の二日間の予定であったが、台風接近のため11日(金)朝に12日の中止と13日の開催判断基準を決め、午前中に出展者、来賓、実行委員への連絡とホームページでの告知を行った。13日は開場前から400人程の列ができたが開場後は混乱もなく、子供たちや保護者の楽しそうな声が聞かれた。今年も高校生や中学生が一生懸命に堂々と説明している姿が見られ、大学生も丁寧な説明で好評を得た。大津会場も天候に恵まれ、開場前に300人ほどの列ができた。会場は狭いが回転率が良く入場者数の割に混雑が少なかった。どちらの会場も一日あたり来場者数はほぼ昨年並みであった。

なお、今年度より実行委員長を、神山保 滋賀大学教授から松岡純 滋賀県立大学教授へと交代した。